

	新潟大学 農学分野
学部等の教育研究 組織の名称	農学部（第1年次:155 第3年次:10） 大学院自然科学研究科（M:487 D:70）
沿革	<p>明治36（1903）年 旧制新潟県立農林学校創立</p> <p>昭和20（1945）年 新潟県立農林専門学校創立</p> <p>昭和24（1949）年 新制新潟大学農学部設置</p> <p>昭和44（1969）年 大学院農学研究科修士課程設置</p> <p>昭和61（1986）年 大学院農学研究科博士課程設置</p> <p>昭和62（1987）年 大学院自然科学研究科博士後期課程設置</p> <p>平成7（1995）年 大学院自然科学研究科博士前期課程・後期課程設置</p>
設置目的等	<p>昭和20年、新潟大学農学部の前身である新潟県立農林専門学校は、旧制新潟県立農林学校を母体とし、第二次世界大戦中の農産体制増強のために設立された。</p> <p>昭和24年、新制国立大学の発足時に新潟大学農学部として承継された。新潟大学農学部は、我が国の農業の持つ後進性から速やかに脱却するため、また、農村の発展に寄与するため、優れた農業指導者及び農業自営者を多数養成するとともに、農業高校での教育強化のため、農業教員を養成することを目的として設置された。</p> <p>昭和44年、学部における一般的並びに専門的教養の基礎の上に、広い視野に立って、精深な学識を修め、専門分野における理論と応用の研究能力を養うことを目的に農学研究科修士課程が設置された。</p> <p>昭和61年、生物機能と生命現象の解明の多面的な視野からの解析とその知識の集積に立った有効な機能の活用という基礎的学問分野と応用的学問分野に関する研究を総合的に行うとともに、これに基づいて今後の生物に関わる学問及び技術の諸分野の発展に貢献し得る優れた人材を養成することを目的に農学研究科博士課程が設置された。</p> <p>昭和62年、理工農学専門分野に加え、境界領域、複合領域に対応できる研究者の養成、共同研究の進展と研究活動の活性化を目的に自然科学研究科博士後期課程が設置された。</p> <p>平成7年、修士課程と博士課程における教育研究のより一層の連続性・継続性を図ること、及び学術研究の進展と急激な社会の変化に対応できる創造性豊かな優れた研究者や専門技術者への需要の高まりと、国際化の進展に貢献できる専門的知識・能力をもった人材養成へ</p>

	<p>の希望に応えることを目的に、自然科学研究科博士前期課程・後期課程に改組された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>新潟大学農学系分野は、新潟、北陸及び日本海沿岸という地域性を背景に、食料生産、環境保全、生物資源の利用などに関する教育・研究を通して、「命」の尊さを基本に食料と環境を広い視野を持って総合的に考えられる能力の高い人材を育成し、国際社会や地域社会の発展に貢献することを目指しており、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本学の立地を最大限生かし、インターンシップやフィールドを活用した実践的学習に基づいて農・食・環境を統合的に理解する大学院教育により、専門的知識と技術を持った高度職業人と研究者の育成とともに、独創性があり、国際的視野で地域の課題を解決できる高度な研究者の育成に役割を果たす。 ○ 農力開発プログラム、農と食のスペシャリスト養成プログラムなどの特色ある教育を積極的に推進してきた実績を生かし、学部と大学院教育プログラムを連携する教育改革を進め、実践力があり、グローバルに活躍できる農学系人材を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。 ○ イネの育種や米の高度利用をはじめ、超高压加工食品や災害食など食に関わる国際的に特色ある研究や、実績ある朱鷺プロジェクトなどの自然環境保全や自然災害に関する研究とともに、食料の生産と流通、生物機能の開発と利活用など、農学の諸分野の研究を推進し、地域社会や農学の発展に寄与する。 ○ 国や新潟県・新潟市をはじめとする自治体の審議会等への参画や各種団体への協力・知識普及、農林水産省・新潟県及び県内企業との共同による高温耐性イネや新規食品の開発、高品質コシヒカリ生産技術やトキを含む県内の野生生物管理技術の普及、附属農場を活用した食農教育・地域連携などの実績を生かし、地域社会の農林業、食品産業の振興や環境保全等に貢献する。 ○ 教育関係共同利用拠点として認定された佐渡の演習林を活用し、将来を担う大学生の環境教育に大きく貢献する。 ○ 朱鷺の島環境再生リーダー養成ユニット、大学院への社会人受け入れ、市民開放授業、公開講座などの実績を生かして、社会人の学

	<p>び直しを推進し、地域社会ならびに地域の農林業・食品産業の発展に貢献する。</p> <p>○ 多様な災害を経験している新潟県で蓄積された防災・減災に関する研究実績を生かし、国内外の被災地域における農業・農村復興に資する社会貢献を図る。</p>
--	---